

令和6年4月1日

令和6年度開始にあたり

社会福祉法人 愛恵協会

理事長 三浦博幸

昨年は障がい者支援事業所の不適切処遇や虐待がマスコミを賑わせ、福祉に対する量、質共に要望の高まりを感じました。今年は元旦から能登半島地震で災害時の障がい者支援体制づくりが求められています。社会から求められるニーズの多様性に対し、愛恵宣言にある「誰一人取り残さない」社会の実現を求めて「障がい者や生活困窮者等の自立と社会参加」を推進し地域の課題にも公益的事業として取り組み、誰もが生き生きと自分らしく安心して暮らすことができるまちづくりに参加します。

今年度の法人及び各事業所運営方針・事業計画を目標に職員が生き生きとプライドを持って活動する1年にしていきたいと思います。

今年度も＜四半期職員目標＞を活用してください。第1四半期は「利用者が安心できる職員体制で活動します」です。